

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	動く細胞と場のクロストークによる秩序の生成
領域代表者	宮田 卓樹（名古屋大学・大学院医学系研究科・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、培養細胞がもつ不規則な運動性がどのような秩序をもって多細胞化が成立するのかといった問いに対し、細胞の「ゆらぎ」を新たな視点として、イメージングなどの技術や、数理モデル等を確認することにより解決しようとする提案である。本研究領域の目標は明確であり、当該研究分野にマッチした比較的若手の研究者によって構成され、6つの計画研究はそれぞれのコンセプトの中で階層的に計画されており、バランスのとれた提案として評価できる。個々の細胞のゆらぎから多細胞の秩序の理解に向けてその客観的な定量法、生理的意義、またその制御と活用方法など、解決すべき課題に向かって領域代表者がリーダーシップを発揮し、統合的な研究が遂行されることによる具体的な進展を得ることによって、他の研究領域にも波及効果をもたらす新たな学術領域の形成が期待できる。</p>